

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関する事。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関する事。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関する事。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関する事。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関する事。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(88%)=利用冊数(558,405冊)÷634,673冊(上記①適用)	95%未満~85%:3点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) R3:558,405冊 前指定管理期間の平均:634,673冊(R2:516,286冊、R1:644,286冊、H30:662,333冊、H29:680,520冊、H28:669,967冊) 【参考】開館日数:R3:263日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:259日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	4点
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(85%)=利用人数(延べ132,427人)÷156,226人(上記①適用)	95%未満~85%:3点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) R3:132,427人 前指定管理期間の平均:167,893人(R2:118,961人、R1:158,491人、H30:164,904人、H29:169,591人、H28:169,185人)	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点 仕様書に忠実:11~9点 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点 それ以下:2~0点	年次報告書P257~263 ①第55回多治見市文芸祭 (1)一般の部(714人 1,339点)、小中学生の部(5,634人 9,463点) (2)応募点数は一般の部581点減、小中学生の部476点増 ②企画展示事業 季節のミニ展示(63回) ③郷土資料室 (1)古文書ミニ展示(4回) (2)郷土資料を活用した講座(講座タジミ学2回、古文書講座4回、その他2回) (3)郷土資料の活用・提供	仕様書以上 14点	①文芸祭は市内小中学校に呼びかけたことで参加者を増やしている。一般の部も高校からの参加があり、新たな広がりが見える。 ②コロナの影響で文芸祭表彰式・講評会を中止とした分、作品展の会期の延長に取組まれた。 ③郷土資料を活用した市民講座で、あえて「タジミ学」を企画するなど幅広く郷土の歴史と魅力の発信に努めている。 ④古文書講座はより1回の人数を減らした上で、同じ内容を2回実施して受講機会の確保に努めている。	14点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15~12点 例年通り:11~9点 例年よりやや劣る:8~7点 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る:2~0点	年次報告書P265~765 ①ブックスタート事業、読書活動団体連携事業 (1)ブックスタート(7回172組) (2)小さなおともだちのためのおはなし会(3回61人) ②英語多読支援事業 (1)英語多読講座(2回48人)、(2)多読クラブ(24回129人) (3)シンポジウムでの事例発表 ③読書推進事業 (1)トヨカンフェス(200人)、(2)としょかんビンゴ(145人) (3)ハロウィンクイズ(221人)、(4)図書館おみくじ(600人) (5)多治見高校図書館ゼミ (6)他館との共催による読み聞かせ(学習館2回28組、根本交流センター2回35組) (7)企画展示(101回)、(8)雑誌リサイクルフェア(248人) (9)読書活動団体との連携「いろはにこんべいとう」公演(2回90人)	期待以上 13点	①SNSを活用し、図書館からのこまめな情報発信に努めている。 ②英語多読支援事業をオンラインで実施し、遠方の方や小さい子どもがいる方の参加もあり、安定した事業が行われている。 ③来館そのものがイベントになる事業をいくつも展開。楽しみながら、本に親しんでもらえる機会を数多く提供した。 ④利用が少ない高校生をターゲットにした連携事業を企画。図書館が身近に感じられ、同年齢の利用者への働きかけに取り組まれた。	13点			
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P248(学習館と共通) ①図書館として定期清掃、日常清掃を実施。ロボットクリーナーによる清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
	②保守・点検			年次報告書P248~249(学習館と共通) P276 図書館として機器等保守点検(図書館システム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	③保安・警備			年次報告書P249(学習館と共通)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	④小規模修繕			年次報告書P249~250(学習館で一部対応) P276 図書館としての有償修理 全5件 総額199,996円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P276 ①毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を実施。 ②救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施。救急時の動きを確認。 ③利用者が触れるパソコン画面や筆記用具の消毒を開館前に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P277 ①市のファイリングシステムに準じて適切な管理と情報の共有を図っている。 ②フロアが3階層に分かれているため、各階の業務用パソコンで職員が相互に業務連絡やメールの最新情報を把握できる体制。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P277 ①エアコンの冷房と壁掛扇風機を併用。カウンター前にダクトレールファンを設置。 ②除籍資料はリサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユース。 ③除籍した児童書を再活用して架を作成。イベントに活用。 ④再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクル。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P277 ①ホームページでの本の検索に障がい者支援ブラウザを導入。視力が弱い利用者へ支援(H30から1年更新、東濃3市では本市のみ) ②館内の案内はイラストや大きな文字を用い、幅広い年代に応えられるよう工夫。 ③開架フロアに「車いす優先席」を2箇所設置。掲示物はイラストを交えユニバーサルデザインに心がけている。 ④文字が読みづらい利用者向けに「大活字本」を提供。定期的に配架する本を入れ替え、来館者に本を選ぶ楽しみを提供。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P277 ①やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用し、返却後の資料がすぐに手に取れるブックトラックや小規模展示をしやすいミニブックトラックなどを設置。 ②経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新を心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P277 ①各階にシュレッダーを配置し、個人情報記載の書類は適宜廃棄。 ②図書館システムの画面(貸出・返却)は、可能な限り個人情報を表示しない設定。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	282,865,568円÷支出280,585,006円=101%(学習館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む)	105%未満~100% 4点	【参考】 ①指定管理料 128,992千円(子ども情報センター含む) ②施設独自の収支(人件費、本部経費等を除く。子ども情報センター除く) (1)収入/文化事業収入121千円、雑収入115千円 (2)支出/管理運営費21,437千円、文化振興事業費1,657千円(郷土資料室含む)	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点 適正(普通):7~5点 不備あり:4~1点	年次報告書P279 ①国でも使われる支援ブラウザをホームページに導入。音声読み上げ、背景色の切替え、文字拡大、ふりがな表示、ディスレクシアに対応。 ②郵送貸出サービスを開始。来館せず資料を借りられるよう運用を改善。 ③セルフ貸出機の配置を見直し。個別ブース化でプライバシーを保護。端末の使用方法の説明をわかりやすく掲示し利用増。	期待以上 9点	①多くの方にストレスなく、本に親しんでいただくための取組みを充実している。 ②郵送貸出サービスは、郵送のための梱包や配送手続の手間を惜しまず、ニーズに応える一心で始まった取組み。今後の職員の負担が懸念されるが、継続に期待。 ③周囲の目を気にせず貸出手続きができるよう、貸出機の配置の工夫に取り組みされた。本を借りる利用者の気持ちへの配慮である。	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P279 ①「閲覧フロアに椅子がなく、館内で資料を読むことができない」旨の声あり。コロナ対策で滞在時間の短縮、社会的距離の確保を求めて椅子を撤去している旨を説明。その後は館内で検討を行い、一部の椅子を間隔をあける形で再開。	適正(普通) 4点	①今回のような声が利用者から上がるであろうことは想定されていたため、相応の理由の説明については適切な対応。	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ①図書館と郷土資料室のそれぞれの事業を利用して、市民に対して本への愛着、郷土への愛着を深めるための取組みに努めている。 ②特に乳幼児の親や小学生~高校生といった未来の大人へのアプローチに注力し、本に親しんで成長してほしいという願いが、事業への取組みに表れている。 ③季節のミニ展示、企画展示を年間164回実施。職員全員が常にアイデアを出し合い、いつ来ても図書館が新鮮な空間となるよう努めている。	合計86点	極めて良好